

日本鉄鋼協会記事

研究委員会

昭和 61 年度第 5 回研究委員会 開催日：1 月 13 日。
出席者：加藤委員長，ほか 23 名。

1. 昭和 62 年度特定基礎研究会および鉄鋼基礎共同研究会予算について。
2. 高級ラインパイプ研究会設立について。
3. 「ソフトウェア」開発管理規定(案)の審議。
4. センサー技術調査研究小委員会報告。
5. 加工技術の将来像調査研究小委員会報告。
6. 鉄鋼協会における研究活動に関する意見交換。

編集委員会

第 10 回和文会誌分科会 開催日：1 月 9 日。出席者：坂尾主査，ほか 27 名。

1. 24 件の論文審査報告がなされ，掲載決定 18 件。照会后掲載可 4 件，修正依頼 1 件，その他 1 件であった。
2. 「鉄と鋼」第 73 年第 7 号(5 月号)に論文 11 件。技術報告 3 件掲載決定した。

第 10 回欧文会誌分科会 開催日：1 月 16 日。開催地：経団連会館 1103。出席者：加藤主査，ほか 17 名。

1. 16 件の原稿につき審査報告がなされ，掲載可 3 件，修正依頼 12 件，返却 1 件であった。また，8 件の New Technology につき審査報告がなされ，掲載可 3 件，修正依頼 5 件であった。

第 5 回編集運営委員会 開催日：1 月 16 日。出席者：坂尾委員長，ほか 23 名。

昭和 61 年度俵論文賞候補論文として 39 件があげられ，各論文に対して 5 名ずつの評価者が選定された。

情報管理共同研究会

情報管理共同研究会第 7 回光ディスク利用研究分科会

開催日：1 月 14 日。出席者：野田(益)主査，ほか 7 名。
光ディスク設置部署(技術系)のアンケート回答まとめやメーカーヒヤリング結果を中心として，技術文献の記憶媒体に関する利用研究の報告書の構成および執筆分担を決めた。

ISO 事務局運営委員会

ISO 運営委員会第 12 回会議 開催日：12 月 9 日。
出席者：山本委員長(新日鉄)，ほか 19 名。

1. ISO 事務局員交替の紹介。
2. 事務局定例報告
3. 第 6 回 ISO/TC17/EC 会議準備状況の報告。
4. ISO 理事会ならびに IFAN 会議出席報告
5. 昭和 61 年度事業報告案及び昭和 62 年度事業計

画案の審議。

6. 昭和 61 年度決算予想及び昭和 62 年度予算案の審議

ISO 運営委員会 TC17 諮問部会 第 13 回会議 開催日：12 月 12 日。出席者：青木 朗部会長(新日鉄)，ほか 17 名。

1. ISO 事務局員交替の紹介
2. 事務局報告
- 2.1 定例報告
 - (1) ISO 規格成立状況
 - (2) DIS コメント処理結果(5 件)
- 2.2 特別報告

海外出張報告

WG18(デュッセルドルフ)，SC16(オスロ)，第 6 回 EC 会議の事前打合せなど

共同研究会

昭和 61 年度第 2 回共同研究会総務幹事会 開催日：11 月 25 日。出席者：安藤卓雄幹事長，ほか 24 名。

1. 昭和 61 年度上期共同研究会予算実績報告
2. 臨時協会事業検討委員会について
3. 昭和 62 年度予算編成について
4. 共同研究会資料の機密保持および研究内容の公開についての協議
5. 部会，分科会長期開催計画予定
6. 小委員会廃止，新設の件(廃止)

鉄鋼分析部会・鋼中非金属介在物分析小委員会(新設)
鉄鋼分析部会・鋼中析出物評価技術研究小委員会(仮称)

第 84 回圧延理論部会 開催日：11 月 13, 14 日。開催地：川鉄・水島。出席者：中川吉左衛門部会長，ほか 122 名。

1. 研究論文発表
各社より 19 件の論文発表があつた。

板関係……12件
条鋼関係……2件
理論関係……2件
その他……3件

2. 特別講演

「TFP の製造技術」川鉄・水島 厚板鋳鍛部広瀬圭介 部長殿

3. 工場見学

川鉄・水島製鉄所厚板工場，および冷延工場

鋼板部会

第 45 回ホットストリップ分科会 開催日：11 月 13, 14 日。開催地：新日鉄・君津。出席者：歌橋千之部会長，藤原淳二主査，ほか 87 名。

1. 操業成績 (昭和 61 年 5 月～7 月)

2. 共通議題

「要員・省力化」に関するアンケートの取りまとめ。

3. 自由議題

各事業所より 1 件、計 14 件の発表があつた。主な内容は下記のとおり。

- 自主整備体制
- ヤードの物流合理化
- ヤードにおける結露防止システム
- パレット搬送

4. 工場見学

新日鉄・君津製鉄所熱延工場

第 44 回コールドストリップ分科会 開催日：12 月 11, 12 日。開催地：新日鉄・広畑。出席者：歌橋千之部会長、浅村峻主査、ほか 128 名。

1. 操業状況 (昭和 61 年 4 月～9 月)

2. 工場概況報告

3. 共通議題

「圧延における板厚精度」に関するアンケートの取りまとめ。

4. 共通議題の各社事例発表

各事業所より 1 件、計 14 件の発表があつた。

5. 工場見学

新日鉄・広畑製鉄所冷延工場

共同研究会

第 47 回鋼管部会 開催日：12 月 4, 5 日。開催地：住金・鹿島、鋼管・京浜。出席者：森部会長、ほか 132 名。

1. 共通議題「最近 5 か年における要員合理化内容と今後の展望について」

2. 継目無鋼管分科会報告

(1) 概況報告 (白浜前主査)

(2) 寸法精度について (住金・和歌山)

3. 特別講演

(1) 「高級ラインパイプ共同研究委員会 HIC 技術分科会特別報告」(HIC 技術分科会 主査)

(2) 「最近の石油事情」(石油公団・石井理事)

(3) 映画「新石油資源を拓く」(石油資源開発(株)製)

4. 工場見学

住友金属工業(株)鹿島製鉄所

日本鋼管(株)京浜製鉄所

第 79 回熱経済技術部会 開催日：11 月 20, 21 日、開催地：新日鉄・名古屋。出席者：樋渡部会長、ほか 119 名。

1. 統一議題「鉄鋼における電気加熱の利用」

(1) アンケートまとめの発表

(2) トピックステーマ発表

「連铸設備タンディッシュ誘導加熱装置」他 1 件。

(3) 特別講演「誘導加熱の技術動向」

2. 自由議題

「コークス炉のガス流れの解析」他 7 件

3. 自由討論

「小倉 2BF 乾式集塵装置」他 6 件

4. 研究議題

「名古屋製鉄所における省エネルギー活動」

5. 工場見学

新日本製鉄(株)・名古屋製鉄所

第 11 回運輸部会 開催日：11 月 13, 14 日。開催地：神鋼・加古川。出席者：石川部会長、ほか 143 名。

1. 共通議題「輸送途上における品質管理の実態」(製品品質管理検討小委員会)

2. 共通議題関連自由テーマ

「熱延コイル結露管理システムの導入」他 3 件。

3. 改善事例自由テーマ

「構内運搬管理システム」他 7 件

4. 工場見学

(株)神戸製鋼所・加古川製鉄所

設備技術部会

第 35 回圧延設備分科会 開催日：11 月 27, 28 日。開催地：住重・新居浜。出席者：宮脇芳治部会長、三科陽弘主査、ほか 128 名。

1. 共通議題Ⅰ「設備稼動状況」

2. 共通議題Ⅱ「圧延設備の振動問題」

(1) 事例集の取りまとめ

(2) 各社事例発表………12 件

3. 工場見学

住重・新居浜製造所

第 21 回電気設備分科会 開催日：11 月 13, 14 日。開催地：神鋼・神戸。出席者：宮脇芳治部会長、舟木昌夫主査、ほか 114 名。

1. 共通テーマ

「PC のソフトウェアへの対応」

2. 自由テーマ

各社より 1 件、計 7 件の発表があつた。

3. メーカーレクチュア

当分科会発足 10 周年を記念して電気メーカーの特別講演を行った。

{「交流可変速駆動システム」………三菱電機

{「知識工学の動向」………富士電機

4. 工場見学

神鋼・神戸製鉄所棒鋼工場

亜鉛めつき鋼板部会

第 3 回亜鉛めつき鋼板部会 開催日：12 月 4, 5 日。開催地：川鉄、川板・千葉。出席者：川崎文一郎部会長、ほか 120 名。

1. 操業状況 (昭和 61 年 4 月～8 月)

2. 共通議題

「エネルギー原単位と主な省エネルギー推進状況」に関するアンケートの取りまとめ。

3. 自由議題

各事業所より 1 件、計 18 件の発表があつた。内容は下記のとおり。

省エネルギー
操業改善
品質改善
設備改造

4. 工場見学

川鉄および川板・千葉 CGL

標準化委員会

標準化委員会 ISO 鉄鋼部会 SC1 分科会第 79 回会議
及び ISO 運営委員会 SC1 諮問部会第 19 回会議. 開催
日: 12 月 17 日. 出席者: 佐伯正夫主査/部会長 (新日
鉄), ほか 11 名.

1. SC1 分科会関係

(1) DIS 4938 (Ni-重量/滴定法) に対する日本回答案
の審議

(2) DP 9647 (V-原吸法) の最終 WD の審議

(3) 鉄鋼分析方法概要 (Technical Report) に対する
日本回答案の審議

(4) WG19 (Cr-原吸法) の国際共同実験要領の審議

2. SC1 諮問部会関係

(1) DP9441 (Nb-吸光法) の SC1 内投票結果の処理

についての審議

(2) 新設ワーキンググループの設置及び当該外国入手
資料の紹介

(3) 欧州出張報告

(4) ISO 規格制定状況の報告

(5) WG11 (Al-原吸法) の最終 WD についての事務
局作成案文についての審議

(6) 今年度業務報告案および来年度業務計画案の審議

鉄鋼基礎共同研究会

第 17 回鉄鋼の環境強度部会 開催日: 11 月 20, 21
日. 開催地: 新日鉄・八幡. 出席者: 駒井謙治郎部会長,
ほか 24 名.

1. 共通試験データ集出版について

2. 海洋環境強度データベース, 破面写真集 Vol2 の
出版について

3. 共通試験取りまとめ作業について

4. 取りまとめ結果の討論

5. 工場見学

新日鉄・若松海洋センター

新刊紹介

「設備診断技術ハンドブック」刊行のお知らせ

本会共同研究会設備技術部会において, 昭和 58 年より企画・編集を進めてまいりました「設備診断ハンド
ブック」が本年 12 月に刊行されることとなりました.

今日, 日本の産業界に於ては設備の自動化・高度化が進み, 鉄鋼業のみならず全ての業種で設備が生産活動
の主役を果すようになってまいりました. したがって設備の機能精度を維持するメンテナンス業務は極めて重
要なものとなつてきております. かつて「予防保全」というメンテナンス理論が日本に導入されて以来, メン
テナンスの理論・活動・システム等は, その重要性の認識とともに発展してきましたが, その経済性および信
頼性を追求した結果として, 近年「設備診断技術」が適用されるようになってまいりました.

本書は, 本会設備技術部会を中心に第一線の執筆陣によつて, 設備診断技術の現状と今後の動向について,
鉄鋼業はもとより, 各種機械・電気設備等広範な業種にわたつて 実例を豊富に盛り込み 集大成したものであ
り, 本技術の実践的なハンドブックとして広く御活用いただけるものと確信いたします.

本会では, 下記のとおり本書を購読される会員に特別価格を設けることといたしましたので, ご希望の方は
官製葉書にて本会宛お申込み下さい.

記

「設備診断技術ハンドブック」会員特価要項

1. 発行時期・体裁 昭和 61 年 12 月下旬発行, B5 判 350 ページ

2. 会員特価 8,800 円 (定価 9,800 円) 送料出版社負担

3. 申込方法 官製葉書にて, ご購入部数・送付先ご住所・ご氏名をご記入のうえお申込み下さい. (図
書は丸善より振込用紙とともに発送されます)

4. 申込先 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 (〒100)
(社) 日本鉄鋼協会 庶務課 (担当 水野)

5. 支払方法 出版社より本書発送と同時に振込用紙をお送りいたしますので 指定口座にお振込み下さ
い.

6. 注意事項 会員特価は一般書店では取扱いをいたしませんので必ず本会へお申込み下さい.
なお, 発送等に関する問い合わせは下記へ直接お願いいたします.

(問い合わせ先) 丸善(株)出版事業部編集室 電話 03-272-0393 (担当 石寺)

(内 容)

1. 設備診断技術の概要
2. 回転機械診断技術
3. 静止機械診断技術
4. 電気設備診断技術
5. 油分析による診断技術
6. 鉄鋼における設備診断システム
7. 診断のための資料